

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	せいかだい保育所	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人京都府保育協会		

平成25年2月27日

総 評	<p>せいかだい保育所は、関西学術研究都市の中心地である精華台に位置し、閑静な住宅街の中「遊ぶ・学ぶ・暮らす」に最適な環境にあります。平成17年4月1日、公設民営保育所として開所して以来、「一人ひとりの自立支援・一人ひとりの自律支援・共育ち支援」を理念に掲げています。自治会・教育機関との連携を密にしており、ボランティアの受け入れ実績も豊富です。</p> <p>保育所が地域に根ざした子育てステーションとして様々な機能を担い、今日に至っています。</p> <p>園舎内は、採光が良く常に清潔に保たれています。子どもたちは、落ち着いた保育空間の中、充実したコーナー遊びを楽しむことができ、異年齢児との関りを大切にし、子どもの「喜び・不思議さ・思いやり」を育み、保育者・保護者の豊かな人間性も育つ「共育ち支援」が実践されています。</p> <p>この地は、住宅開発が今後も進む傾向にあり、地域における児童福祉施設としての役割、保育サービスの充実に向けた取り組みが行われています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・管理者は地域の自治会会合に出席し、保育所の理念の周知に努めています。また保育所の情報発信と地域の意向の情報収集を行い保育課程に反映させています。 ・実習生の受け入れマニュアルを作成、体制を整備しています。実習のプログラムは保育士養成校とも連携し見直しも図られ、実習生の受け入れが適切に行われています。 ・年長児は、公共の交通機関を使って買物体験をする社会体験学習を行っています。地域との交流を深めるために担任と子どもたちは準備段階から一緒に話し合い身近な社会と関わる取り組みを行っています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の質の向上に向けた取り組みは、基本姿勢が明示されており職員一人ひとりの研修が計画に基づいて実施されています。各研修終了後に情報共有ができる工夫をされると良いでしょう。 ・保育の質の向上のため、職員の自己評価に取り組んでいますが、組織としてまとめた内容を保育に活かすサイクルはまだ完成していません。これからの取り組みが期待されます。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	せいかだい保育所
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育協会
訪問調査日	平成25年2月27日

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-(1) 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	A	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	A	A
	I-1-(2) 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	A	A
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	A	A
I-2 計画の策定	I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	/	/
		① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている	A	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A	
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	B	B	
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	A	A	
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	A	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	A	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	A	A
	I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育の理念・方針・目標が職員全員参加の研修において周知されています。利用者に対しても「入園のしおり」・ホームページなどで分かりやすく明記し、入園説明会などを通して周知されています。また、管理者は地域の自治会会合に出席し、保育所理念の周知に努め、保育所の情報発信と地域の意向の情報収集を行い保育課程に反映させています。

・指導計画の評価を定期的に行っています。新たに導入した管理システムを一層活用し、反省の結果を職員で共有、改善につなげると良いでしょう。

・管理者は自らの役割と責任を職員に明らかにし、職員と管理職の相互評価も定期的に行っています。また、業務の効率化を図るため、保育現場の様子をパソコンを通し、職員全員で共有して連絡・報告の効率化を図っています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果		
			自己評価	第三者評価	
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A	
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	A	A	
		① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A	
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A	
		II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
			② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	A	A
	③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	B	B		
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	A		
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A		
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	A	A	
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A	
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	A	A	
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	A	A	

[自由記述欄]

- ・ 経営状況の把握が的確になされており、地域の子どもの増加にともなって施設の拡充と保育サービスの充実が図られています。
- ・ 人事管理の体制は、管理職を軸に職員の就業状況や意向を把握し、改善する仕組みがあり、心理カウンセラーや弁護士などの専門家と連携がなされています。
- ・ 職員の質の向上に向けた取り組みは、基本姿勢が明示されており職員一人ひとりの研修が計画に基づいて実施されています。各研修終了後に情報共有ができる工夫をされると良いでしょう。
- ・ 実習生の受け入れマニュアルを作成、体制を整備しています。実習のプログラムは保育士養成校とも連携し見直しも図られ、実習生の受け入れが適切に行われています。
- ・ シニアボランティアや女性ボランティアを適切に受け入れ、地域と園とのパイプ役も担っています。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	A	A
		① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	A	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	A	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	B	A
	Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A
② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。			A	A
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。		① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	A	A

[自由記述欄]

- ・利用者を尊重する姿勢が明示され、利用者からの意見に対してマニュアルを整備し、苦情解決の仕組みが確立されています。アンケートや苦情箱を設置し、意見・苦情に対し、迅速に対応されています。
- ・定期的に第三者評価を受診し、保育の質の向上のため、職員の自己評価に取り組み、分析が行われていますが、組織としてまとめた内容を保育に活かすサイクルはまだ完成していません。これからの取組みが期待されます。
- ・園児管理システムを導入し、園児に関する記録管理が確立され、全職員がその記録を共有して、保育計画を策定し定期的に評価・反省が行われています。また、職員間の伝達が勤務形態の違いにより不備にならないよう、会議も重ねられています。
- ・保育サービスの提供について、ホームページ・「入園のしおり」などにより情報を提供するとともに、随時見学を受け入れ説明が行われています。また、保育の開始にあたり、入園説明会において分かりやすく説明し、保育サービス・料金について同意を得ています。
- ・転園にあたり、保護者の同意を得、転園先に情報提供が行われ、卒園児に対しても小学校と連携を図り保育の継続性に配慮されています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	B	B
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	B	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	B	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	B	B
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかがわかるような取り組みがなされている	B	B
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	A	A

[自由記述欄]

- ・健康管理に関するマニュアルが整備され、定期的な医師による健康面への対応、また、感染症、アレルギー児に対して職員間の連携をしながら個々の記録をもとに保育がなされています。健康診断や歯科健診の結果は速やかに保護者に伝え、有効に反映されるようにしています。
- ・健康管理・食事に関して年長クラスは調理体験をし『食』の楽しさを共有できる場が作られています。子どもたちが落ち着いて食事を楽しめる場作りも今後期待されます。
- ・保育環境は、保育士による環境委員会が中心になって見直し、整備、点検がなされています。
- ・子ども一人ひとりへの理解を深めることを課題として、更に豊かな受け止めが必要であることを保育士が意識しています。
- ・年長児は、公共の交通機関を使って買物体験をする社会体験学習を行っています。地域との交流を深めるために担任と子どもたちは準備段階から一緒に話し合い身近な社会とかがわかる取り組みを行っています。ただし、身近な自然とのかかわりについて、現在は法人の方針により散歩は実施していません。
- ・長時間にわたる保育のための環境は整備され週案も整っています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

- ・入所児童の保護者と保育士との懇談会を設けています。平日の昼間は参加できない保護者に対しても相談に応じ、共通の理解を得るための機会を設定しています。
- ・早朝より、園長自らが玄関に立ち、保護者・子どもと挨拶を交わしコミュニケーションを図っています。
- ・虐待について、気になる子があれば、全職員に周知するとともに、関係機関と連絡をとる体制が整っています。
- ・子どもの発達記録、ケア記録が整備され、小学校などとの連携に活かされています。
- ・一時保育は、一人ひとりの心身の状況を考慮しながら通常保育との関連を配慮し保育がなされています。また、保護者との育児相談にも応じています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	IV-3(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	A	A
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	A
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	A	A

[自由記述欄]

- ・食中毒の発生時における対応マニュアルがあり、おう吐物処理のマニュアルも各部屋に設置されています。
- ・事故防止のための安全チェックリストがあり、毎日施設・設備の点検を行い事故防止に努めています。